第参学年週刊情報誌
学年通信
48回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生
発行所　〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

紙面から

5 ネクタイの話出る！
4 止まらぬ破壊活動
3 起業家教育講演会
2 最後の体育大会感想
1 介護の仕事って何？

兵庫県立
伊川谷高等学校
校歌（1番）
作詞 黒部　亨
作曲 岡村　健治

若草の
萌ゆる岡辺に　陽はあふれ
清らな命　育まむ
とこしえに　たゆみなく
道の奥処を　究むるところ
うるわし母校　伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢

校訓
自主 協同

様々な困難に、まくら君はどう立ち向かう？（続く）

介護の仕事ってなに？
いろんな仕事にふれていこう

介護に関する講演会の様子

「介護とは、身体が不自由になった人のお手伝いをします。」

10月27日(月)の7限目、実際に介護サービスを行っている『株式会社エルフ』から3名の講師を招き、介護をテーマにご講演をいただきました。

「介護が必要になるのは、病気・怪我・衰弱・その他で…」

「40歳になったら皆、介護保険料払います。」

「介護についての相談は、あんしんすこやかセンターへ」

など、高校生にはなじみの薄い話が出てきました。しかし、実は皆が将来、介護する側orされる側で確実に関わる内容です。

話はヤングケアラーについても言及しました。ヤングケアラーとは『家族の介護や世話を日常的に行っている子ども・若者の事』です。

質疑応答では、事前に伝えた質問に対する回答がなされました。

質問①
「しんどいですか？」
回答①
「そんなときもあります」

質問②
「やりがいを感じるときはどんな時？」
回答②
「来るのを待ってくれていたとき。ありがとうって言ってもらったとき」

質問③
「楽しい事は？」
回答③
「利用者さんとお話をするとき」

質問④
「給料は？」
回答④
「資格で変わります」

これら最近の講演会は、『働くっていう事を皆に考えてもらいたい』という森田Tの想いで実現しております。森田Tは言います。

「君たちにいろんなキッカケを元に、これからをやっていってほしい！」

本当にその通りです。

実は今回来ていただいた『株式会社エルフ』には、本誌編集長の実父が徘徊老人みたいになってしまったとき、大変お世話になりました。講演終了後、編集長が話しかけ、実父の住んでいた町名を言っただけで、

「福田さんですね！」

と、早速の有名人ぶりが伝わりました。家族でも介護が大変な人、そんな人でも介護を引き受けてくれる方達です。本当に有難かったです。

これから先、皆も世の中の仕組みをたくさん学び、いろんな事を一人で抱え込まない様にしてね。

100年先の未来を創る高校
高 伊川谷 good life

芸術鑑賞会　令和7年11月18日
音楽鑑賞 by ニューオリンズブラスバンド

場所：神戸文化ホール（大ホール）
時程：12:55　生徒集合待機
（文化ホール前の市立中央体育館）
13:00　入場開始
13:20　点呼完了・座席移動禁止
13:30　開演
15:00　終演
15:30　生徒完全撤退

※当日は2限目まで学校で授業があります。
※伊川谷北高・神戸学園都市高と合同鑑賞です。

「自主・協同」この気持ちを大切に、皆で卒業式を迎えような！

ネクタイの話 出る！

生徒会から説明中

あまりのネクタイの悪い着け方に、

「それならネクタイは外してください！」

となったのが1学期の話です。それからの皆のいろんな声を聞き、10月28日(火)に生徒会が動きました。朝8時30分、各クラスにて説明を行う生徒会役員の面々です。

「明日から、ネクタイは着用してもしなくても、どちらでも可です。ただし、着用する場合は必ずキチンと着用してください。しばらく毎朝、生活委員と担任の先生がチェックします。しっかりとできていなければ、またネクタイ禁止に戻ります。」

つまり、いい加減な着け方をしないでね、という事です。着けるときは第一ボタンが見えない様にお願いします。また、『50周年記念式典』など各種式典はネクタイ着用でお願いね。

止まぬ破壊活動 イカ高が大ピンチ

イカ高の通用門に設置された新聞受けの天板破壊（10月14日(火)朝発見）そして、外から職員室へ入る際の2段階段の破壊（10月30日(木)朝発見）など、伊川谷高校の施設に対する明らかな破壊活動が行われています。間違いなく言える事は、『これは決してショッカーの仕業ではない！』という事実です。

また、以前から蓄積されていた、体育館天井の多数へこみ（ボールを強くあげ、天井板を割ったもの）は、板カスが落ちてこない様にすべて応急処置が施されました。応急処置なので、新たな落下物が出ない様に、該当箇所の板をくり抜き保護シートを設置で終わりです。授業や部活の最中にへこんだ箇所もありますが、故意にボールを当てたへこみもあります。その結果が、今の体育館の『穴ぼこ天井』なのです。壊れゆくイカ高を救えるのは誰だ？それはあなた？

破壊後の新聞受け

一体どんな力が

穴だらけ体育館

いよいよ
本官の出番か？

ちょいと一言

歩きスマホしてると、目の前に落ちてる『幸せ』にも気付くことができないよ～

↑ここに落ちてるよ～

天性人語48th

この伊川谷高校でたまたま皆と出会い、それがたまたま教師と生徒という立場であっただけで、そこに教師の方が偉いとかそんな違いは全くない。たまたま知り合った『人と人』である。人と人の付き合いなので、相手の存在を尊重するのは当然である。▼そんな中、教師が君達生徒に何かモノをいう事がある。それは決して教師が偉いから言っている訳ではなく、『ただちょっとだけ皆より長く生きて、少しだけたくさん経験を積んでいるから、こうした方がいいんじゃないかな』という思いを伝えているだけ。▼17歳or18歳のみんなを見ていると、『もう少しいろんな経験をして視野を広げて欲しいな』と思う人もいれば、『自分よりもよっぽど大人だなぁ』と感心する人もいます。人間、年齢じゃなく、どれだけ経験し、どれだけ考え、そしてどれだけ行動をしたかです。▼生きていれば必ずダメなとき、どうしようもなく辛く苦しくなるときがくる。必ずである。でもこれも必ず言える、辛く苦しいときは決して続かない。いつか必ず晴れて状況が良くなる時が訪れる。必ずである。なので、苦しい時間はどんなに情けなくても、周りの人に助けてもらってもいいから、その時間を耐えよう。季節と同じで、例え長い冬であっても必ず春が訪れるから。

（福田）

あなたの夢の宝石箱…

そこがあなたの伊川谷高校…

広告　みんなの笑顔が集まるところ、みんなの笑いが聴こえるところ、それはいつも伊川谷高校にあった・・・
大切なのは、そこにあなたも居たという事実。あなたも伊川谷高校生の大切な一人なのです。

IkawaDani

読者のページ

School Teacher @ Voice

起業家教育講演会

10月29日(水)の6限目は、2&3年合同(全校生徒と言った方が早いかな?)を対象とした『起業家教育講演会ー夢や目標ってどうやって探すの?ー』が行われました。講演者は京大卒業後、モルガン・スタンレー証券やゴールドマン・サックス証券を経て、起業家としていくつもの会社を経営されたHMさんです。

「みなさんの(体育館に)入ってきてからのエネルギーが素晴らしい。人生の中で、このエネルギーを何に使っていくのか…」

講演会中の様子

という話の間も、**ざわわー、ざわわー?、ざわわー♪**と、まるで『**さとうきび畑※**』を連想させる騒がしさです。

「やらない選択をしていると、できる事は増えません。」本当にその通りです。しかし、いくら良い話でも、聴かなかったら何の意味もないな、と本誌編集長は感じてました。同じ思いは他の先生方も感じていた様で、講演終了後に柴崎Tは、

「人の話をどれだけ聴けるか…だと思います。大事にしてほしいと思います。」

と、かなり押さえ気味に話しをし、大原Tは、

「今までいろんな学校を見てきましたが…」

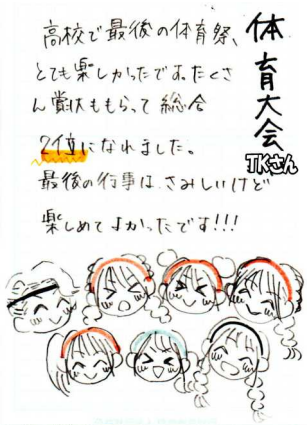
と、かなりお怒りモードでした。卒業前の48回生の(結構な数の)人達の『**好き勝手モード**』に、学年団も正直に疲労が隠せぬ状態です。このまま卒業していって大丈夫なのか?『寿司ペロ事件』が他人事には思えません。どうしよう…

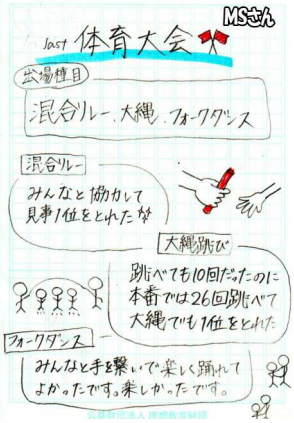
※【用語解説】さとうきび畑　第二次世界大戦中の沖縄の家族を描いたドラマ『さとうきび畑の唄』、森山良子さんが歌うその主題歌の出だしが、ざわわ　ざわわ

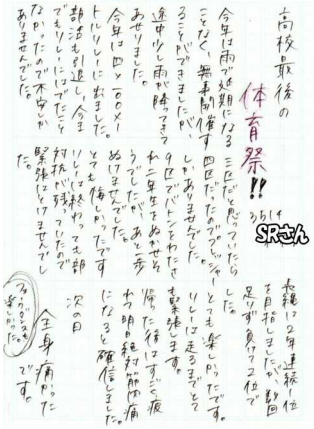
最後の体育大会 感想特集

ようやく掲載できました

アナログ感を出そうと、感想はがき新聞をそのままスキャナで取り込んでみました。カラーはウェブ版で!






高校最後の体育祭!!
SRさん
今年は雨で延期になる三日間続いたりしてしまいました。
今年は四つ目のプログラムでしたが、しかしありませんでした。
今年は雨が降ってしまいました。
今年は四つ目のプログラムでしたが、
ドリルしかしておりません。
雨が降ってしまいました。
雨が降ってしまいました。
雨が降ってしまいました